

御中

(製造メーカー) 株式会社シリカジャパン
大阪営業所

パイロキープTS2000 コンクリート防食仕様及び施工要領書

コンクリート素地 (3回塗り)

- (下地処理) ①下地にバリ、エフロ、レイタンス、脆弱層がある場合はワイヤーブラシ、マジックロン、電動工具等を使用し目荒らしを兼ね研削して下さい。
- ②素地の断面修復等は早強セメント・樹脂モルタル等を利用し含水率(10%以下)にて次工程に移れる様、努めて下さい。

(塗装工程)

工程1) 下塗り材	パイロキープTS2000 (ライトグレー又は指定色)
主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0~5%
塗布量	200g/m ²
塗装間隔	6時間以上3日以内 (20℃) ダレ無い程度のタック残りは次工程可 ※寒冷期は特に硬化時間を要しますので、 1デイ1コートが理想です。
工程2) 中塗り材	パイロキープTS2000 (ライトグレー又は指定色)
主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0~5%
塗布量	150g/m ²
塗装間隔	6時間以上3日以内 (20℃) ダレ無い程度のタック残りは次工程可
工程3) 上塗り材	パイロキープTS2000 (ライトグレー又は指定色)
主剤/硬化剤比	70/30 (重量比)
シンナー希釈率	0~5%
塗布量	150g/m ²
塗装間隔	最終養生24時間以上 (20℃)

(注意及び施工要領)

- ①塗装方法は刷毛、ローラー、吹きつけ塗装機を使用出来ます。
2 液性塗料につき特に夏場はゆず肌を防ぐ為、2 時間以内程度で塗布出来る量を混合し、専用シンナーでの調整をお願いします。寒冷期・作業上どうしても必要な場合は、担当者と打ち合わせの上、硬化促進剤を現場添加する場合があります。この場合は1 時間以内程度で塗布出来る量を混合して下さい。(通常は使用しません)
- ②ローラー使用では無泡ローラーの使用をお奨めします。シリコン含有量の高い特殊塗料につき泡切れが悪い・泡残りする・乾燥が遅い等の作業デメリットがあります。
- ③特に下塗りでは置換泡が出やすい為、塗装後 30 分以内に短毛空ローラー (シンナーをひたす程度) の使用で泡をつぶし、ピンホールの発生を防いで下さい。

(塗料荷姿)

パイロキープ TS2000 4kg/セット・10kg/セット
パイロキープ TS 専用シンナーは上、下塗り塗料共通で荷姿は 4kg/缶・15kg/缶